

第6次静岡県防犯まちづくり行動計画（2025～2028）の概要 ～犯罪のない安全・安心な「幸福度日本一の静岡県」を目指して～

これまでの取組

- 刑法犯認知件数の増加（2002年に過去最高の63,008件）を受け、防犯まちづくり行動計画を定め、各種施策を実施
 - ・ 第1次行動計画 2003～2009
 - ・ 第2次行動計画 2010～2013
 - ・ 第3次行動計画 2014～2017
 - ・ 第4次行動計画 2018～2021
 - ・ 第5次行動計画 2022～2025

現状と課題

- ◎ 県内の犯罪発生状況
 - 刑法犯認知件数
2003年から20年連続で減少 ⇒ 2023年から再び増加
2002年：63,008件 ⇒ 2024年：16,339件（△74.1%）
 - 再犯者率 2024年：45.2%
- ◎ こども・女性・高齢者等を狙った犯罪等の多発
 - 特殊詐欺被害 2024年：379件（15億5,414万円）

第6次行動計画

成果指標：刑法犯認知件数16,000件

+

主観的要素：ウェルビーイングの視点

戦略1 **【新規】** 県民の体感治安を意識した活動の推進

- 体感治安向上により県民一人ひとりが身体的、精神的、社会的に満たされた状態を追求
 - 体感治安に対する意識調査等による各種施策への連動促進
 - 治安情勢の変化に対応した各種活動の推進（犯罪被害防止のための取組）

戦略2 **【統合】** 地域の防犯機能・防犯意識の向上

- 犯罪防止に配慮した都市基盤の整備、防犯意識の向上
 - 犯罪の防止に配慮した構造、設備を有する道路等の普及、地域の防犯機能の向上
 - 県民一人ひとりの防犯意識を高める広報・啓発、活動の推進

戦略3 **【統合】** 特性に応じた犯罪被害等の防止

- こども、女性、高齢者、外国人が被害に遭いやすい犯罪の予防
 - こどもの安全確保のため防犯パトロール実施、体験型防犯講座の開催
 - 女性の性犯罪被害を予防する活動の推進、性暴力被害者支援センターの支援による性犯罪・性暴力被害の潜在化防止
 - 高齢者が主な被害者となる特殊詐欺被害防止のための活動の推進

戦略4 再犯防止の推進

- 国、県、市町、民間団体等の役割分担を踏まえ、相互に連携しながら「地域における包摂」を推進
 - 就労・住居の確保
 - 犯罪をした者等の特性に応じた効果的な支援の実施等
 - 民間協力者の活動の促進、広報・啓発活動の推進等

目指す姿：犯罪のない安全・安心な「幸福度日本一の静岡県」